

2-6 下水汚泥からの回収リン酸と鶏糞燃焼灰を活用した肥料 (全農岐阜県本部)

○ 全農岐阜県本部は、岐阜市の下水汚泥から回収したリン酸を化成肥料の原料の一部として活用する「エコレクトG066」を、協同肥料(株)と連携して開発・販売。

国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

下水汚泥焼却灰
鶏糞燃焼灰

化成肥料
くみあい苦土入り化成066
(エコレクトG066)



取組の経緯・内容・成果(見込み)

取組の経緯
・岐阜市は、平成21年度末に下水汚泥焼却灰から「リン」を回収する施設を整備し、そこで回収したりん酸を、副産リン酸肥料「岐阜の大地」として製造・販売を開始した。
・当該肥料の活用について、岐阜市よりJAグループに相談し、JAグループは、近年の肥料高騰の進行を踏まえ安定的に入手可能なリン酸「岐阜の大地」を原料に活用した肥料の開発を肥料製造事業者(協同肥料株式会社)と連携して進めた。

取組の内容
・「岐阜の大地」はリン酸単肥であるため、用途に応じて窒素やカリウムとの混合が必要で使用場面が限定されていた。そこで、「岐阜の大地」や鶏糞燃焼灰などの国内未利用資源を化成肥料の原料の一部に代替した、農業者が使いやすい肥料(エコレクトG066)を肥料製造事業者と開発。2023年1月に肥料登録、4月より販売開始。

成果(見込み)
・エコレクトG066は、成分が同様(10-6-6)の化成肥料に比べ化学肥料原料を15%低減し、肥料コストを5%程度削減している。

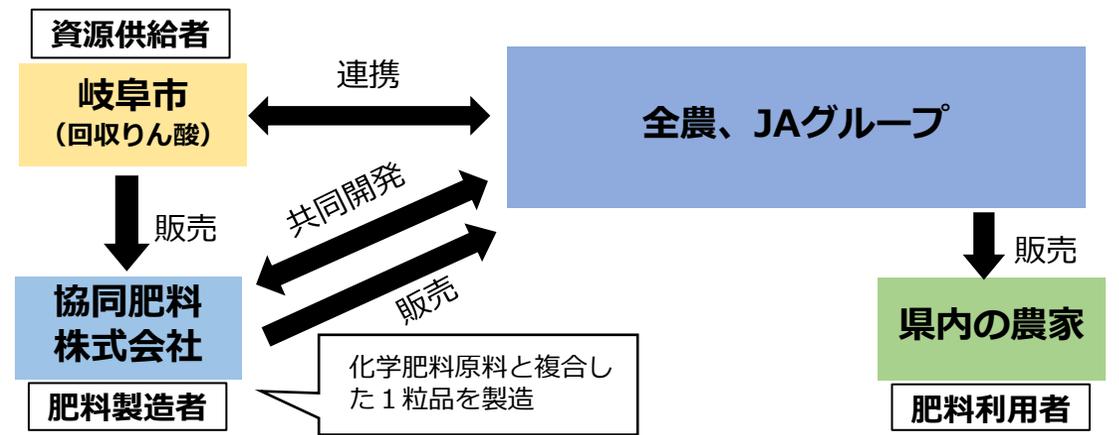
作物 ■ 保証成分量(%)、特徴等

園芸作物全般

N	P	K	Mg
10	6	6	2

使いやすいよう、バランスよく配合。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



今後の課題・取組

- ・粉状の「岐阜の大地」を原料として造粒する際の使用割合に技術的な課題がある。
- ・農業者の利用(選択)を増やすため、肥料そのものの周知や施用方法、その効果の周知を行い、利用拡大を推進する。